



空道のアジア選手権で準優勝の成績を収めた鈴木誠士さん（中央）と全日本ジュニア選手権で優勝した古田凛太郎さん（右）と鈴木克史支部長

鈴木さんは同連盟の強化指定選手として、11月3日に開かれた大会に出場。9人がエントリーした体力指数（身長と体重の合計）230以下のトーナメントを勝ち抜き、準優勝した。これまでの最高成績は全日本選手権でのベスト4だっただけに喜びは大きく、「これほど大きな大会での入賞は初めてでうれしい」と語る。

空道は来年に青森県で開催される国民スポーツ大会のデモンストレーションスポーツとなっており、5月にYSアリーナ八戸で競技が実施される予定。鈴木さんは「もっと基礎能力を向上させて、地元開催の国スポで活躍したい」と意気込んでいる。

11月3日には同会場で全日本ジュニア選手権（同連盟主催）も開かれ、鈴木道場に所属する三沢市立古間木小6年の古田凛太郎さん（11）がU12（12歳以下）47kg以下で日本一に輝いた。

古田さんは大会のMVP（最優秀選手賞）も受賞。「自分から攻めて、自信のある蹴りを出せた。積極的な戦いができた」と喜びを語った。

## 空道アジア選手権

「自分のスタイルで戦えた」

鈴木さん（<sup>八学大</sup>3年）準V

お知らせ

東京都の国立代々木競技場で開かれた空道のアジア選手権（全日本空道連盟主催）のスタイルで戦えた」とアジア大会初出場で、おいらせ町の大道熟三沢支部鈴木道場での躍進に手応えを得た様子で、さらなる（鈴木克史支部長）に所属する八戸学院大 活躍を誓っている。（上村公悟）

全日本ジュニア U12古田さん（<sup>古間木小</sup>6年）は優勝